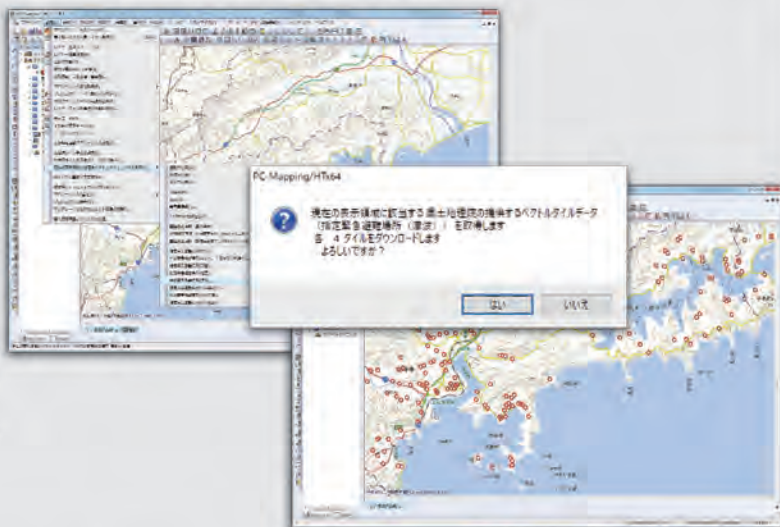


地理院タイルをますます便利に利用

雑誌「測量」1月号から、「地理院地図図使ってみよう!」(国土院)の連載が始まり一般への知名度も高くなっている地理院地図のデータである「地理院タイル」ですがPC-MAPPINGでは、簡単に利用することができます。

背景に表示するだけでなく、インターネットに接続できない環境での利用を考え「地理院地図タイルを広域イメージに登録」することができます。

また、実証実験中のベクトルタイルへの対応(現在の表示領域の地理院ベクトルタイルデータを取得)も行っています(道路中心線、鉄道中心線、河川中心線、基準点、注記、単写真情報、2万5千分1地形図、基盤地図情報(基本項目)、基盤地図情報(数値標高モデル5mメッシュ航空レーザー測量)、基盤地図情報(数値標高モデル10mメッシュ地形図の等高線)、指定緊急避難場所(洪水)、指定緊急避難場所(崖崩れ、土石流及び地滑り)、指定緊急避難場所(高潮)、指定緊急避難場所(地震)、指定緊急避難場所(津波)、指定緊急避難場所(大規模な火事)、指定緊急避難場所(内水氾濫)、指定緊急避難場所(火山現象))。



指定緊急避難場所(津波)の例

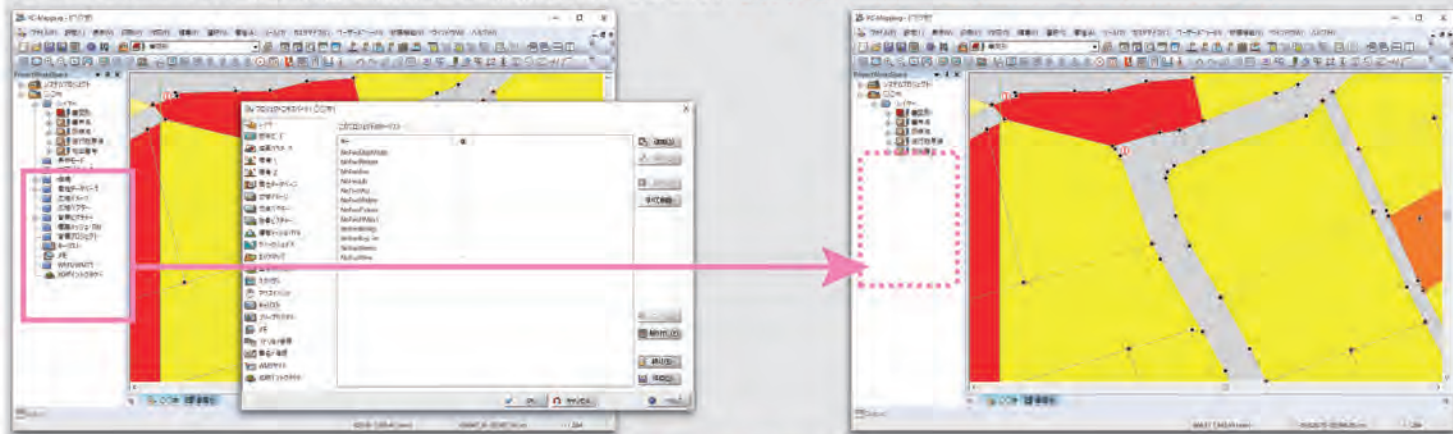
地理院地図以外のタイル形式の画像データも様々提供されるようになってきました。

PC-MAPPINGでは、タイル形式画像を簡単に背景画像として利用できる機能(タイル形式画像背景表示設定)があります。地理院地図に限らず、タイル形式データは背景に表示することができます。

カスタマイズ機能

「クイックバーメニュー」「タスクメニュー」「ユーザーメニュー」等をご利用になり、客先納品時のシステム構築や、PVP(プレゼンテーションビューワーパック)を作成し営業にご利用になるユーザー様が多数いらっしゃいます。

そんな中、「プロジェクトワークスペースは便利だけど、客先にはレイヤーだけを表示して納品したい」といった声に対応し、プロジェクトワークスペースの表示項目を制御できる機能を追加しました。また、この機能はPVPでもご利用いただけます。



拡張 PVP 機能一覧

客先納品用にもご利用頂ける「拡張 PVP」には様々な機能があります。現在の機能一覧はこちらをご確認ください。

http://www.mapcom.co.jp/ftp/doc/2018_pvp.pdf



株式会社マプコン

〒104-0042
東京都中央区入船3-1-13
エーユー入船ビル7F
Tel 03(3523)4640 Fax 03(3523)4643
URL <http://www.mapcom.co.jp/>
e-mail info@mapcom.co.jp

4月からのお知らせ



いつも PC-MAPPING をご利用頂きましてありがとうございます。

ユーザーの皆様からの声を聞き、常に進化を続ける PC-MAPPING の更なる進化の一部をご紹介します。

Latest information!

- ★ ホームページ新設のお知らせ
- ★ 「出簡調」Ver.2 Excel ツール
- ★ 地形解析機能
- ★ 地理院タイルをますます便利に利用できます
- ★ カスタマイズ機能

このリーフレットに記載しきれない数々の機能は、是非、ご自身でご確認下さい。

追加機能、拡充機能の一部

- データベースの[属性フィールドの設定]で、データベースリンクの[データベース][キーフィールド][データフィールド]に関して、検索機能を追加しました。登録データベースやフィールド数が膨大な場合に設定が簡単になりました。
- 法務省地図 XML ファイルのインポートに関して、専用ダイアログを表示して設定を行い、取り込みができるようにしました。
- [個別選択]に[アーク路線選択]メニューが追加されました。始点、終点ノードを指定して、その間を最短経路で結ぶアークを選択状態にします。
- [選択]に[選択ベクターのみ表示(非選択レイヤー非表示)]メニューを追加しました。従来の[選択ベクターのみ表示]に対して、選択要素がないレイヤー要素も非表示となります。
- [全データ検索]メニューのダイアログをモードレスとして、他の機能と併用出来るようにしました。
- [作図][アーク作図・編集]に、[補間点指定円弧作図]メニューを追加しました。補間点を IP 点として、曲率半径を指定、もしくは BP(EP) 点を指定して円弧を作図します。
- [編集作図]の[同一属性要素間アーク作図]で、[めがね線]オプション(円弧で作図する)を追加しました。
- [交点生成・ダブリアーク削除]メニューで、[(ダブリアーク削除時)選択されているアークを優先して保持する]オプションを追加しました。
- [編集][レイヤー]の[図郭をデータ存在領域に変更]メニューで、[レイヤー毎に、そのレイヤーのデータ存在領域に調整する]モードを追加しました。
- [システムツール]の[画像処理]に[イメージ比較・差分抽出]メニューを追加しました。指定の2つの画像を比較し、異なるピクセルの箇所を画像として表示します。

その他にもたくさんの機能追加・機能拡充が行われております。

詳しくは、後日 HP に掲載されます「2017 年度 機能追加・更新情報のご報告」をご覧ください。

ホームページ新設のお知らせ

このたび、情報をより分かりやすくお届けできるようウェブサイトの新設いたしました。

ご利用者の皆さまにより見やすく、より快適にご利用いただける WEB サイトを目指し構成しております。従来のホームページ (<http://www.mapcom.co.jp/>) はサポートサイトとして引き続き運営いたします。

- 新設ホームページ <http://www.mapcom.tokyo/>
- 従来のホームページ <http://www.mapcom.co.jp/>



新ホームページのポイント

- 更新速報やトピックス等の情報発信の充実
日々、機能を強化・更新する PC-MAPPING の最新情報や、よくいただくお問い合わせ・新機能の紹介等の情報発信を行っています。
- 機能強化の紹介
ドローン(UAV)や点群データ(3D関連)、WebGIS(画像タイル、ベクトルタイル)への対応等、現在強化している機能をご紹介します。



● 利用目的に応じた製品の紹介

「こういうことをしたいのだけど、どの PC-MAPPING がいいの?」という疑問にお答えすべく、利用目的別のラインナップをご紹介します。

出簡調 Excel ツール Ver.2



調査システムの出簡調に
帳票作成をサポートするオプションが登場しました。
出簡調とあわせてぜひご利用ください



出簡調 Excel ツール

データビュー

UID	調査日	調査日時	区分	広告物の種別	自家用	家内	一般	照明の有無	あり	なし	表示の有無	あり(1)	あり(2)
1		2016/2/21 13:29:24	突出		0	0	1		0	1		1	0
2		2017/2/18 14:32:14	立て看板		0	0	1		0	1		1	0
3		2016/2/14 13:33:40	のぼり		0	0	1		0	1		0	1
4		2017/3/14 13:34:10	広告塔		0	1	0		0	1		0	1
5		2017/3/14 13:34:29	のぼり		0	0	1		0	1		0	1
6		2017/3/14 13:34:44	立て看板		0	0	1		1	0		0	1
7		2017/3/14 13:34:59	壁面		0	0	1		1	0		0	1
8		2017/3/14 13:35:29	のぼり		0	0	1		0	1		0	1
9		2017/3/14 13:35:14	広告塔		0	1	0		0	1		0	1
10		2017/3/14 13:35:38	突出		0	0	1		1	0		0	1
11		2017/3/14 13:35:52	突出		0	0	1		0	1		0	1

Excel 帳票

よくあるお問合せ
Q. 帳票を作る元のデータに PC-MAPPING のデータは使えないの?
A. PC-MAPPING 対応版もございます。プロジェクトファイルのほか、CSV はもちろん Access や SQLServer のデータファイルも動作対象としております。

「調査に帳票はつきもの」と以前より多くの皆様からご要望を頂いておりました。昨年度、ついに帳票作成のオプション製品をリリースいたしました。出簡調の CSV 形式のエクスポート機能を利用して、Excel で作成したテンプレートのセル番地を指定するだけのかんたん設定で単票形式の Excel ファイルや PDF ファイルが生成できます。これにより、時間と労力のかかる資料作成業務の効率化が図れます。

モバイル調査システム「出簡調 Ver.2」導入実績

エンドユーザー様：埼玉県日高市様（総務部税務課）
利用シーン：固定資産税の賦課にあたって、土地の地目認定等の調査で「出簡調」をご導入いただきました。実際の作業や導入効果については、WEB で公開中!
<http://www.mapcom.co.jp/deka2/pdf/ex05.pdf>



現況調査から、点検業務など、幅広い業務でお使い頂いております。弊社 HP では業務に応じた調査項目のテンプレートを提供しております。ぜひご利用ください。

※MS-Excel は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
※その他、記載の社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です。

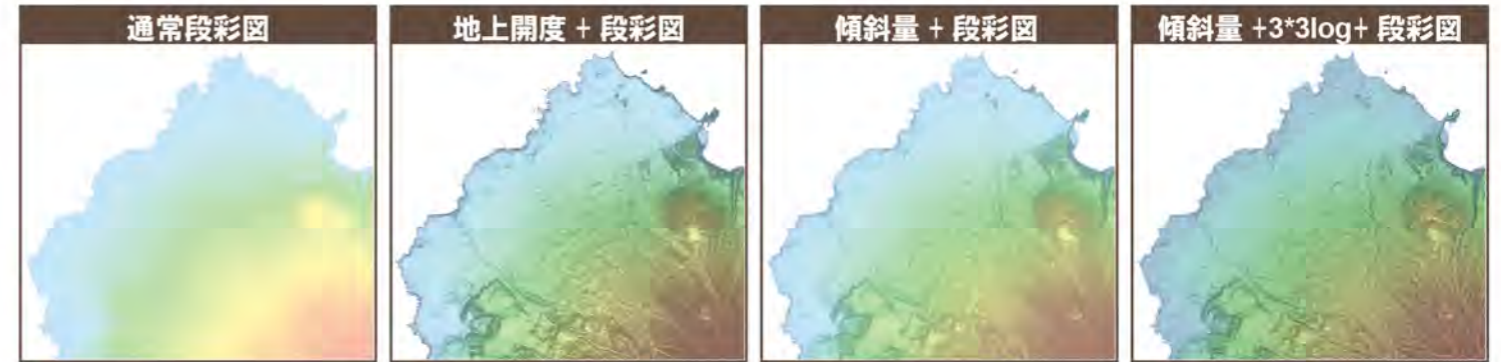
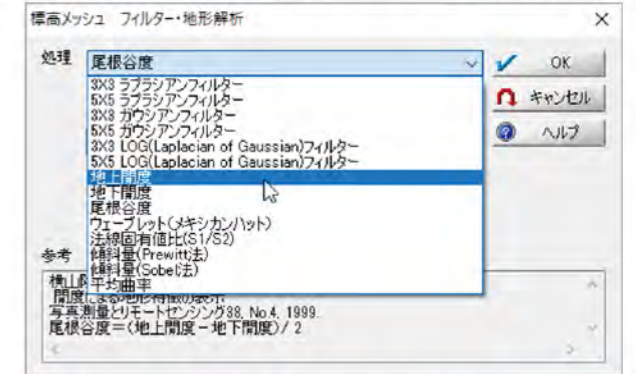
地形解析機能



数値標高モデル (5m メッシュ) データや、UAV による空中写真、レーザー計測データが入手しやすい環境となりました。これらのデータを利用して「地形解析」を行うことで、土砂崩れなどの災害が置きやすい地形が抽出でき防災対策の検討要素として利用できます。

[標高メッシュ効果・解析] - [フィルター・地形解析] メニューには、従来の解析機能に加え

- ・ 3X3 ガウシアン
 - ・ 5X5 ガウシアン
 - ・ 3X3 LOG(Laplacian of Gaussian) フィルター
 - ・ 5X5 LOG(Laplacian of Gaussian) フィルター
 - ・ 平均曲率
- が追加されました。



導入事例

株式会社ウエスコ様（本社：岡山市）が「地形解析機能」を実務で活用されている事例をご覧いただけます。

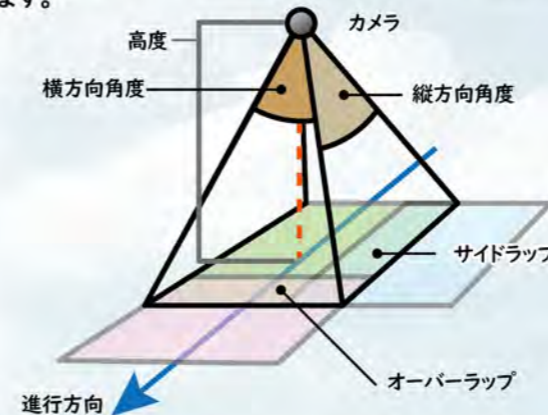


http://www.mapcom.co.jp/ftp/doc/2018_analysis.pdf

UAV 飛行計画作成機能



UAV 撮影コース設計 (カメラ撮影) 機能では、カメラの緒元ではなくカメラ視野角を指定してコース設計を行います。



UAV 撮影コース撮影 (レーザースキャナー) では、作成したコース設定の飛行で地形の取得漏れがないかのシミュレーションも入れます。

この機能は、標高データを利用して、地形の反射を考慮したレーザー点群取得エリアを計画します。

